



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



平成27年度昭和大学卒業式・学位記伝達式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

平成27年度昭和大学卒業式が、3月11日(金)にパシフィコ横浜の「国立大ホール」において盛大にかつ厳粛に執り行われました。今年度の卒業生は、医学部(84回生)115名、歯学部(34回生)97名、薬学部(48回生)185名、保健医療学部(11回生)170名の合計567名で、広い会場は卒業生と大勢の父兄ならびに関係者の出席で埋め尽くされました。これまで卒業式を「ゆうぼうと」で開催してきましたが、施設が解体されることになりましたので、今年は会場をパシフィコに移しました。数日前から寒い日が続く、当日はあいにく小雨混じりの天気になりましたが、着飾った卒業生で晴れやかな式典になりました。

式は午前10時に昭和大学管弦楽団の演奏(モーツァルト作曲 アイネ・クライネ・ナハトムジーク第1楽章)で厳かに開会しました。校歌斉唱に引き続き、各学部の総代に小出学長から学位記が授与され、歯学部総代を小松麻衣子さんが務めました。小出学長の告辞と小口理事長の祝辞に引き続き、各種表彰が執り行

われました。歯学部からは上條賞を小松麻衣子さん、同窓会賞を峯島志奈さん、高松弘貴君、清田萌美さんの3名、上條旗ヶ岡賞を馬術部の加藤善郎君が受賞しました。



歯学部5年生の高坂 光さんが在校生送辞を述べ、薬学部の齊藤 凌君が心温まる卒業生答辞を述べました。昭和大学関係者全員で「昭和大学宣言」を高らかに唱和し、卒業の歌(旅立ちの日に)斉唱のあと、卒業生団員を中心に管弦楽団による送別の特別演奏が行われました。最後に恒例となった応援指導部による卒業生への力強いエールがあり、会場全体が熱気に包まれる中閉会しました。

引き続き午後12時半から、会場を移し、アネックスホールにおいて、歯学部学位記伝達式が執り行われました。こちらにも大勢の父兄の参加がありました。宮崎歯学部長、榎病院長、飯島同窓会長の挨拶に引き続き、卒業生全員に宮崎歯学部長から学位記が



伝達されました。引き続き学生表彰、記念品贈呈および花束贈呈を行い、上條学生部長の挨拶で午後1時半に閉式しました。

伝達式における学生表彰者は以下の通りです。歯科医学生賞: 大川真純, 黒滝優太郎, 久富正太郎, 学生部長賞: 菅井琳太郎, 教育委員長賞: 飯泉亜依, デンツプライ・スチューデント・アワード: 羽鳥綾乃, 林駿哉, パナソニック・ヘルスケア・アワード: 梶原里紗, モリタ・ハノー補綴学賞: 高橋理真, フィリップス賞: 呉大生, ストロマンアワード: 野尻尚子(敬称略)

卒業生におかれては、卒業式の学長告辞や理事長祝辞でも触れられた「至誠一貫」の精神を生涯忘れることなく、そして、伝達式で配布された卒業までのロードマップとコンピテンシーを折りに触れては目を通し、本学の卒業生であることに誇りをもって今後各方面で活躍されることを祈念します。

選抜Ⅱ期入試が行われました

入学支援課 水庭隆史

平成28年度選抜試験Ⅱ期・センター利用入試Ⅱ期が2月27日(土)に旗の台キャンパスにおいて歯学部・薬学部・保健医療学部の3学部合同で実施されました。当日は晴天に恵まれ、交通機関等の目立った乱れもありませんでした。歯学部は16号館、薬学部と保健医療学部は4・5号館を試験場として実施しましたが、他学部間での連携も円滑に行われ、滞りなく遂行されました。当日の歯学部志願者は、選抜試験Ⅱ期174名(男74名, 女100名)、センター利用入試Ⅱ期5名(男3名, 女2名)となりました。3月1日(火)に合格者を発表し、平成28年度入学試験がすべて無事終了いたしました。ご多忙の中、ご協力いただいた教職員の皆様には、心より御礼を申し上げます。次年度もご協力の程、よろしくお願いいたします。

第7回iOSCAを実施しました

iOSCA委員長 山本松男

D5 iOSCA (integrated Objective Structured Clinical Assessment) を、3月10日(本試)、3月17日(再試)に歯科病院で実施しました。一年間の臨床実習で身につけた臨床的能力の到達度を、本学部のコンピテンシーに沿って評価しました。シラバスにあるSBOsのような個々の技能・知識・態度ではなく、全身状況の把握に努め、他の医療従事者と密な連携をとりながら、・・・歯科疾患の基本的な治療ができるというような臨床実習で統合された実践能力の評価です。iOSCAの始まる前の説明ではD5学生諸君に「先日実施されたOSCEで高得点であった(一つ下の)D4の学生がiOSCAを受験しても、決して評価は高くない。臨床では何をすべきか、実践の中で技能・知識・態度が合目的に整理され構築される経験をしていないから」と説明をしています。昨年同様に、チーム医療を実践する能力に焦点を当て、一人の患者様の症例を軸にコンパクトな課題を設定して一日実施しました。医療面接に始まり十分な情報を得的確な治療計画を立案、内科への対診書による照会を経て、全身の状態に注意を払いつつ抜歯を行う直前までの一つのストーリーです。安心安全な医療の実践能力の到達度を評価しました。



当日は遅刻者・欠席者もなく順調に進行しました。成績は概ね良好でしたが、口腔内検査に不慣れであったり、血液凝固機能にもう少し目を向けられないものかという感想が残りましたので、学生にフィードバックし卒業時までさらに能力が向上するようにしたいと思います。本試当日は、城南七歯科医師会及び川崎市歯科医師会より外部評価者としてお越しいただき、また(公社)医療系大学間共用試験実施評価機構より俣木志朗先生(東京医科歯科大学教授、日本歯科医学教育学会理事長)の視察もありました。大変多くの貴重なアドバイスをいただく事ができました。

ご協力を頂きました教職員やTA(大学院生)に深く感謝を申し上げます。

謝恩会が行われました

教育委員長 美島健二

昭和大学歯学部第34期生の謝恩会が、平成28年3月11日(月)に帝国ホテル孔雀西の間で開催されました。また、謝恩会に先立ち、卒業式、学位伝達式

がパシフィコ横浜で行われました。謝恩会は、卒業生とご父兄の拍手に迎えられて、名誉教授、教授、准教授、講師の順で入場し、開会となりました。まず初めに、宮崎学部長のご挨拶があり、教育委員長、飯島歯学部同窓会長の挨拶が続き、榎病院長の



乾杯の音頭で祝宴に入りました。医学部の謝恩会から駆けつけていただいた小口理事長、片桐名誉学長、小出学長など来賓の方からの心温まる御祝辞を頂戴した後、卒業生から先生方への花束の贈呈が行われました。恒例になったランキング発表では、「授業のわかりやすい先生」「熱意のある先生」など多くの先生方が表彰され盛り上がりを見せていました。会場での記念撮影のあと、盛会裡に閉会となりました。謝恩会委員長の篠原君をはじめ企画・進行に携わった卒業生の皆さんお疲れ様でした。卒業生全員の進路に幸多からんことを祈っています。

至誠塾修了式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

平成27年度昭和大学至誠塾(6回生)修了式が、3月16日(水)午後6時から1号館5階カンファレンスルームで開催されました。至誠塾は学校法人昭和大学の発展のために、教育職員だけでなく全ての職員を広く求めて、大学の経営や運営に関わることを広く学ぶ場として平成21年に開塾されました。修業年限は2年間で、1年目は講義および討論形式で実施され、2年目はテーマ別研究および発表形式で実施されます。塾長である小口理事長から6回生15名に修了証が授与されました。塾長から2年間の修業に対する感謝と、リーダーの心構えとあるべき姿が示され、修了生が各部署のリーダーとして大学の発展に努めてほしいと力強い告示がありました。今回歯学部からは山口徹太郎先生(歯科矯正学)と茂木香苗さん(歯科衛生室)が修了証を授与されました。修了生が一丸となって本学の発展のためにそれぞれの立場で貢献されますようお祈り申し上げます。



マダガスカル口唇口蓋裂医療協力報告会 が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

平成27年度昭和大学マダガスカル口唇口蓋裂医療協力活動は、平成28年2月8日から23日まで、医学部形成外科学講座 土佐泰祥准教授を団長とする16名(学生4名を含む)の派遣団により、マダガスカル共和国アンツィラベにあるクリニックアヴェ・マリアで行われました。その報告会が、3月7日(月)午後6時から大学病院の臨床講堂で開催されました。今回は飛行機会社の事情で当初予定していた11月の派遣が延期し、パリ経由で30時間の長い航程でしたが、一行は無事に成果をあげて帰国しました。今回の協力活動は5回目になり、口唇口蓋裂の手術件数は通算120件になりました。

報告会には、本事業の発起人である作家の曾野綾子さん、マダガスカル大使館のRosette Rasoamanarivo 臨時代理大使、笹川記念保健協力財団の喜多悦子理事長ほか多数の関係者が参加しました。土佐先生の概要説明に引き続き、学生、留学生(マンジャーノ先生)、歯科医師(高橋先生)、看護師(小木曾さん)、医師(村上先生)の順番にそれぞれの立場からの報告がありました。

今回は初めて矯正歯科の先生が参加しました。口腔衛生状態が非常に悪いので、長期的な視野で医療協力の必要性があるようです。3回目から4学部の学生が参加しています。今回歯学部からは5年生の丸山恵莉さんが参加しました。手術見学に加えて、現地の医療を体験し、また現地の子供達とのコミュニケーションを通じて多くのことを学んだようです。本医療協力活動の遂行にご支援いただいた多くの関係者に感謝いたします。



や検討を、学位申請予定者と主指導教員に加えて歯学研究科教授会メンバー3名からなる論文指導教員(歯学研究科以外の本学大学院のメンバーを論文指導教員に加える場合、論文指導教員の合計は4名)を中心に行うものです。前年度までは申請者ごとに個別に報告会を実施していましたが、今回から発表会場を設けて公開とし、質疑応答を含めて25分の発表を順に行う形式での実施となりました。当日は午前9時から第1および第2臨床講堂の2会場同時進行で、乙種2名、甲種8合計10名の報告が行われました。平成28年度に学位取得を希望する方については、さらに平成28年3月26日と4月2日に歯科病院にて報告会が実施される予定です。多くの先生方、大学院生諸君の参加をお願いいたします。

大学院修了式が開催されました

大学院運営委員長 井上富雄

3月18日(金)に上條講堂で昭和大学大学院修了式が行われました。アカデミックガウンと帽子着用になって3回目の修了式で、昭和大学管弦楽団メンバーによる「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」の演奏の中、荘厳な雰囲気です式が始まりました。今年度の歯学研究科の修了生は36名で、ここ数年で最多となりました。医学研究科50名、薬学研究科6名、保健医療学研究科博士前期課程10名、後期課程3名とともに小出学長から学位記が授与されました。小出学長の告示と小口理事長の祝辞の後、各研究科科長の挨拶がありました。平成26年度から制定された上條賞は、長濱諒君に授与されました。続いて、修了者および昭和大学関係者全員で昭和大学宣言を行い、昭和大学グリーンクラブのリードで校歌を斉唱し修了式が終了しました。その後、研究科ごとに学位記伝達式が行われました。

大学院修了生におかれては、大学院での経験をもとにさらに精進を続け、日本の臨床、教育、研究をリードする優れた歯科医師となられるよう期待しています。



大学院中間報告会を行いました

大学院運営委員長 井上富雄

3月12日(土)に歯科病院第1および第2臨床講堂において「昭和大学研究発表中間報告会」が実施されました。本報告会は、学位論文の作成をより円滑に進めることを目的に、学位審査を行う日の10カ月以上前をめどに学位論文の研究の実施状況の確認

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 平成27年度シンポジウムが開催されました

歯学部研究活動委員長 上條竜太郎

去る3月12日、昭和大学歯学部が5カ年計画で進めている「次世代型顎口腔組織再生医療の研究開発拠点形成」および「口腔機能維持・回復のための集学的研究開発拠点の形成」の2研究プロジェクトの平成27年度合同シンポジウムが、昭和大学歯科病院にて開催されました。

これらの研究プロジェクトは、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業として文部科学省より支援を受けて進められているものです。

シンポジウムの開催は、「次世代型顎口腔組織再生医療の研究開発拠点形成」プロジェクトが今回で4回目、「口腔機能維持・回復のための集学的研究開発拠点の形成」プロジェクトが2回目となりました。

宮崎歯学研究科長によるシンポジウム開会の挨拶に続き、東北大学大学院医学研究科発生発達神経科学分野の大隅典子教授による「神経幹細胞としての神経堤細胞の魅力」、東京大学医科学研究所炎症免疫学分野の清野宏教授による「粘膜マルチエコシステムによる共生と排除」の2題の特別講演が行われました。大隅教授には、多彩な役割を果たす神経堤細胞の起源や発生過程について自身の研究成果を交えながら解説していただきました。また、清野教授には、消化管粘膜がもつ3つの生物学的エコシステム、すなわち微生物群、上皮細胞-間葉系細胞群、そして免疫担当細胞群の間の相互・協調作用から、免疫粘膜機構を利用した新しいワクチン開発の取り組みまで、幅広い研究内容をご紹介いただきました。

引き続き行われた、各プロジェクトの研究分担者による研究成果報告会では、「次世代型顎口腔組織再生医療の研究開発拠点形成」の15課題、「口腔機能維持・回復のための集学的研究開発拠点の形成」の15課題のこれまでの研究成果がポスター発表され、活発な議論と意見交換が行われました。



上條賞(大学院)を受賞しました

歯学研究科(歯科矯正学) 長濱 諒

この度、昭和大学大学院修了式において上條賞(大学院)の栄誉を賜りましたことを誠に光栄に存じます。大学院における研究のテーマは「Cdc42遺伝子の生後成長期の軟骨形成における機能解析」で、主に口腔生化学講座で研究をさせて頂きました。これまで胎生期の軟骨の形成に重要な機能を有することが明らかになっていたCdc42遺伝子に関し、時空間特異的に遺伝子を欠損させることができるノックアウトマウスを作製し、

生後成長期の軟骨形成における機能解析を行って参りました。実験では様々な苦労もありましたが、多くの人に支えていただき、その結果として論文の投稿や、海外を含む多数の学会発表など、様々な経験をさせて頂きました。今後は大学院で学んだ経験を活かし、大学での臨床・研究・教育に取り組み、昭和大学のさらなる発展に貢献できるよう努力してまいります。御指導を賜りました、榎宏太郎教授、上條竜太郎教授、山田篤講師、色々なアドバイスをいただいた先輩方、心の支えだった同期、気分転換に付き合ってくれた後輩、そして最後に大学院に進学させてくれて学ぶ機会を与えてくれた両親に心より感謝申し上げます。



行事予定

広報委員長 中村雅典

- 4月 1日(金): D3・D4・D6オリエンテーション
D2・D6健康診断
- 4月 2日(土): 大学院入学式
- 4月 4日(月): D3・D4・D6 健康診断
- 4月12日(火): 入学式(明治神宮会館)

編集後記

歯科補綴学 安部友佳

厳しい寒さから一転、春風が快い季節となりました。年度始めも忙しい日々が続くと思われませんが、思わぬ花冷えに体調を崩さぬよう、皆様におかれましてはくれぐれもお気をつけ下さい。

末筆ながら、年度末のご多忙の折、皆様から多くの記事をご寄稿いただきましたこと、この場をお借りして深謝致します。